



特集 p2-3

「ちょっと手伝って!」
に駆けつける!
あなたの街の
「支え合い活動」



誰もが安心して地域で暮らし続けることができるように、日常生活におけるちょっとした困りごとを地域住民同士の“助け合い・支え合い”で解決する取り組みが、いろいろな地域で始まっています。

ふれあい、

 東広島市社協だより
Social Welfare in Higashihiroshima

2025. 9. 1
vol. 229



社協だより「ふれあい」の発行は、地域の皆様の会費・赤い羽根共同募金によって支えられています。



今回は3つの
団体代表者の方に
突撃インタビュー！

現在、東広島市の「支え合い活動」は
18もの団体により、各地域で
行われています。
活動内容や活動に対する思いを
ご紹介していただきました！

18団体の活動内容

草刈りや庭木の剪定、買い物の代行や
粗大ごみの搬出など、活動内容や対象
者は団体によって異なります。
詳しくお知りになりたい方は、
地域福祉課（082-430-8867）
までお問い合わせください。

団体名	活動範囲
西条北	
●鴨ヶ池くらしサポートクラブ	鴨ヶ池団地
西条北/八本松	
●平岩つながり隊	平岩
八本松	
●ご近所ホットお助け隊	八本松南1～3丁目
●だいせん・絆クラブ	大山ハイツ
●ちゅうおうお助け隊	八本松中央
●正力ほっと・ほっとお助け広場	正力
●吉川困り事サポート事業	吉川
●お助けクラブ	原（後長沢）
志和	
●二歩“生き・活き”クラブ	志和東二歩地区
高屋	
●昭和台サポートセンター	昭和台南団地内
●里山応援隊	小谷地域
●上条ハイツお助け隊	上条ハイツ自治会内
●協力隊	重兼地区
●6丁目ニコニコお助け隊	6丁目自治会内
●3丁目ちょっと手伝い隊	3丁目自治会内
●4丁目お助け隊	4丁目自治会内
●1丁目お助け隊	1丁目自治会内
●ネオポリスおたすけたい	ネオポリス東広島区内

八本松

団体名：八本松中央自治会 ちゅうおうお助け隊

代表者名：常光 聡

「ちゅうおうお助け隊」は現在16名（30～70代）が在籍し、高齢の方、障がいのある方、子育て中の方の生活上の「ちょっとした困り事」を、身近な地域住民で支え合う「お助け活動」を行っています。

活動費用は無料で、依頼内容は庭の草取りや粗大ごみの搬出、家具移動や買物代行など多岐に渡ります。依頼があればお助け隊LINEグループで情報を共有し、隊員で連携しながら迅速に対応しています。また、毎月月末にはお助け隊員が車で地域を回り、粗大ごみの回収や、避難行動要支援者のお宅を訪問し、困り事がないか声かけを行っています。隊員には民生委員も在籍しており、普段からのあいさつ・声かけ・見守りを行うことで、顔の分かる・気にかけてあう関係づくりに取り組んでいます。

地域住民の支え合い活動として、八本松中央自治会では、役員が「見守りサポーター」となり、民生委員と協力して地域の見守りを行っています。また、高齢者向け配食サービス業者が配達中に出来るお手伝い「お弁当屋の3分間サービス」という取り組み（電球交換やゴミ捨てなど）も行われています。こうした活動・見守り時に気づきや心配事があれば、お助け隊に情報提供をしてもらうなど、見守りサポーターや配食サービス業者と連携し、地域全体での見守り体制づくりに努めています。

住み慣れた地域で、誰もが安心して生きがいのある暮らしができるよう、「お互いさま」の気持ちでこれからも活動を継続していきたいです。



草刈り



草取り

代表者さんからのひとこと

地域の支え合いは、相談しやすい関係づくりや見守りながら「つながりを絶やさない」地域づくりが大切だと考えています。

八本松駅前区画整理により、令和11年には新たに約500世帯の増加が見込まれています。新たな見守り体制づくりが必要不可欠であり、民生委員をはじめとした地域の協力者と連携し、「地域をよくしたい」という共通の思いで地域が一丸となって取り組んでいきたいです。

志和

団体名：二歩“生き・活き”クラブ

代表者名：金原 寿雄

志和町志和東二歩地区（約75世帯の地区）の助け合い活動です。諸々の事情で子どもが志和に帰れない！少子高齢化がますます進む中、『近所に住む人同士がつながりを大切に支え合いながら、安心して暮らしていける地域にするために何かできないか？！』と考え、令和4年4月に発足しました。登録会員（メンバー）数は現在27名で、対象となる後期高齢者の方は40名です。活動は大きく3つで、1つ目は朝夕の挨拶、散歩など普段の生活の中で特にご高齢の方や一人暮らしの方へ意識して声がけをしています（見守り活動）。2つ目は日常での困りごとに手を差し伸べる（支え合い活動）ことです。例えば買い物やゴミ出し手伝いなど、稲作地域でもありますので田んぼの水管理や草刈りなども行っています。3つ目は女性会員の手作りで後期高齢者の方にお手紙を添えて年3回お弁当をお届けしております（配食活動）。この配食活動は生活様式の変化で日頃なかなか会う機会の少ない女性同士の懇親の機会となっています。

これらの財源は会員が市の『元気輝きポイント制度』を通じて受け取った報奨金の一部を充当しています。他に二歩“生き・活き”クラブではミニ門松づくり教室や料理講習会なども実施し懇親を深めています。



配食活動（彩りいなり寿司）

代表者さんからのひとこと

町の中央にあった小学校が4年前に閉校となり加速度的に過疎化が進む私の故郷ですが、この活動により“この地域に住んで良かった！”と言われる方を一人でも増やしたいと考えています。



水管理のお手伝い



高屋

団体名：昭和台サポートセンター

代表者名：井上 武義

昭和台サポートセンターは、高屋町の昭和台団地自治会に作られた助け合い組織です。現在208世帯、約550名が居住していますが、近年高齢化が進み、65歳以上の方が33.7%、75歳以上の方が16.2%を占めます。自治会発足当初から、夏まつりやとんど行事、組ごとの懇親会など、自治会活動が活発に行われてきましたが、コロナ禍を機に行事が無くなり、住民同士のつながりが薄くなりはしないかと心配しています。

昭和台サポートセンターは7年前、隣近所での助け合いを団地全体の規模で促進していくことを目的に作られました。5つに分かれる各組から選出された役員と、サポーター（登録ボランティア）、合わせて20名ほどのメンバーで構成され、2カ月に1回の会合では、情報交換や学習会、イベントの計画などを行っています。

私たちの活動の中心は困りごとのお手伝いです。「粗大ごみを収集場所まで運んでほしい」「雨どいに詰まっているゴミを取り除いてほしい」といった、主に高齢者のご家庭からの依頼に応じてお手伝いをしたり、日常の見守り活動などを行っています。

もうひとつの活動は、住民同士が楽しく交流できるイベントの開催です。住民同士の顔が見え、声を掛け合える関係がないと助け合い活動は進みません。「春の歌声コンサート」「秋のバザール」など、サポートセンターのメンバーも楽しみな交流の場を作っています。



粗大ゴミ運搬のお手伝い



秋のバザール（地域のつながりづくり）

代表者さんからのひとこと

住民の高齢化を止めることはできませんが、高齢になっても住み慣れた昭和台団地で暮らしていけるよう助け合い活動を進めたいと思います。出来ることを、出来る範囲で少しずつ、和気あいあいと気長に続けるのがモットーです。